

2016年8月31日
矢崎総業株式会社

日本最大の「2016 日本パッケージングコンテスト」にて 当社の「端子リール包装」が『工業包装部門賞』を受賞

矢崎総業株式会社(社長：矢崎信二、資本金：31億9,150万円、本社：東京都港区)は、公益社団法人 日本包装技術協会が主催する「2016 日本パッケージングコンテスト」において、『工業包装部門賞』を受賞し、8月30日(火)東京ガーデンパレスにて開催された授賞式にて受賞楯を授与されました。同コンテストは、包装分野における日本最大のコンテストです。

受賞したのは、当社の「端子リール用包装材」で、従来からの問題である“箱つぶれ”の問題に対し、設計段階から取組み、紙の使用量を減らしながら圧縮強度を上げることができました。また、従来の「端子リール用包装材」は段ボール箱の四隅に補強材を接着して強度を確保していましたが、今回の取組により、箱の形状をあたかも宅配ピザのような八角形状にしたことで、補強材を不要としました。これらにより以下の効果が得られました。

- ・ 設計を工夫し包装材の圧縮強度が 15%程度向上したことで、より多くの箱をトラックに積み込めるようになり、積載効率が向上
- ・ 別体の補強材を不要としたことで、材料(紙)の使用量削減と軽量化を実現(実重量で 16~20%減)



受賞した当社の端子リール用包装材

● 日本包装技術協会 「日本パッケージングコンテスト」について(日本包装技術協会のホームページより引用)

本賞は、包装におけるデザインからロジスティクスに至るまでのその年の包装の最高峰と優秀群を決定するもので、毎年開催されています。入賞作品には、優れた包装の証である GP マークの使用が許可され、包装が中身を更にグレードアップします。また、入賞作品については世界の包装コンテストであるワールドスターコンテストへの出品資格も同時に取得します。

本件に関するお問い合わせ先

矢崎総業株式会社 企画室 広報部
Tel. 055-965-3002 Fax. 055-965-0450

【写真】

写真（上）受賞した当社の端子リール用包装材

写真（下）表彰式会場にて

